

ここに薔薇垣が

松本礼子

ここに薔薇垣があつた
こどもの手を引いた
若い母親が立っていた
みどりの葉のあいだから
花たちが親子を見ていた

夕ぐれの風はあまく
なみだは塩辛かった

ここに薔薇垣があつた
こどもの手を引いた
若い母親が立っていた
夕ぐれの風のなかで
花たちが代わるがわる
肯いていた

家のなかで 主が
菜を刻んで
夕餉の支度をしていた

丹精込めた花たちが
表でやさしい仕事をしていることを
知らずに